

令和4年度 熊川小学校スクールプラン

児童の実態
 ・何事も真面目に取り組む
 ・友達を大切にしている
 ・切磋琢磨する機会が少ない

保護者や教師の願い
 ・主体的に行動してほしい
 ・自己肯定感を高めてほしい
 ・地域に貢献できる人になってほしい

【校訓】(五条の教え)
 反省 素直 努力 奉仕 感謝

【学校教育目標】
 自ら考え行動する

【めざす学校像】
 笑顔あふれる学校
 安心安全な学校
 地域に愛される学校

【めざす教職員像】
 学び続ける教職員
 プラスαのある教職員
 信頼される教職員

【研究主題】 自ら進んで学ぼうとする児童の育成
 ~つながりを大切にしたい児童主体の学び~

【めざす児童像】

よく考える子

人や自分を大切にする子

チャレンジする子

【重点目標】

すすんで学び、表現・行動する

自分と向き合い他とつながる

自分を高める

【具体的取組】

- ・基礎、基本の定着と活用力の向上を図る。
- ・問いを持ったり自分の考えと比べたりしながら聴き、積極的に反応・表現できるような場の設定と手立てを工夫する。(ICT活用、他校との交流)
- ・種々の活動で、児童が創意工夫しながら主体的に活動する場面を多く設定する。

- ・進んであいさつができるよう、児童会が主体となって取り組む。
- ・人権教育の日常化を図り、安心して楽しく通える学校づくりに努める。
- ・家や学校で決めたスマートルールの目標を守っていこうとする意識を高める。

- ・学期ごとに設定した自分の目標について、定期的に振り返りながら、目標に向かって努力する習慣をつける。(一輪車等の運動、読書等)
- ・レジリエンス(回復力、しなやかさ)を高める働きかけを行う。
- ・読書カードを工夫し、様々なジャンルの本をたくさん読むようにして、読解力の向上を図る。

【数値目標】

- ・学習した内容について、わかった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができた。(90%)
- ・問いを持ったり自分の考えと比べたりしながら聴き、すすんで自分の考えを発表することができた。(90%)
- ・種々の活動で、自分で考えたり工夫したりしながら活動することができた。(90%)

- ・すすんであいさつをすることができた。(90%)
- ・毎日学校へ行くのが楽しい。(85%)
- ・家や学校で決めたスマートルールを守ることができた。(80%)

- ・定期的に振り返りながら、目標に向かって努力することができた。(90%)
- ・失敗から学んだり、困難の受け止め方を工夫したりして、次の一歩につなげることができた。(80%)
- ・多様なジャンルの本をたくさん読むことができた。(85%)

【家庭・地域との連携】 信頼される学校づくり
 ・保護者が相談しやすい雰囲気づくり ・地域と共にする学習活動や地域との体験活動の推進 ・学校だよりやブログ等による地域への積極的な情報発信

【業務改善の取組】
 ・校内業務改善推進委員会の設置 ・地域の人材活用 ・定時退勤の推進